

会社のご理解を得て、アメリカ村の阪神高速道路のインターチェンジ入口にある同社の空事務所を借りることができました。30坪弱のスペースを改装して、今年7月にオープンする予定です。ここは、アーティストやプロデューサーの方たちが気軽に集まり自由に語れる空間であることに加え、個展を開いたり、ミナミ活性化委員会の情報や阪神高速道路のマップ情報なども提供する機能を備えています。出口さんには、このサロンのアドバイザーになっていただき、今後「アートがまちを元気にする」をキャッチフレーズに、活動の輪を広げていきたいと思っています。

**出口** サロンで語り合ったいろんな話から、実際のプロジェクトに発展することがあります。必要なのはそのプロジェクトが発生する場所、つまり苗床なんですね。コンクリートに種をまいても吹き飛ばされるだけ。湿った肥沃な土地に種をまいてこそ芽が出る。私はよく、「食パンが濡れていないとカビも生えない」というんですけど、この濡れた食パンこそが、私にとってのサロンなんです。

**堀井** まさに大阪21世紀協会も、そういう苗床の活動をしています。そのひとつに、『21カフェ』という交流サロンがあります。大阪でさまざまな文化活動に携る人たちの話を聞き、参加者とともに新しいアイデアやコラボレーションのきっかけづくりを促すもので、昨年5月から毎月開催しています。出口さんのお話も、是非お伺いしたいものです。

**出口** ありがとうございます。いろんな方々とお会いしたいですね。皆さんいろいろと思いがおありなんです、集まる場がないからアイデアが形になりにくいんです。

## ニューヨーカーが注目

**堀井** 『TRIP OF LOVE』の話に戻りますが、大阪公演のあとは、いつブロードウェイで公演されますか。

**出口** 1年後を考えています。大阪での成果をニューヨークに持ち帰り、プロダクションミーティングにかけて、さらに完成度を高めるための修正を行います。また今年の秋頃に、ニューヨーク公演用の最新キャストをオーディションで決めます。そして1月～2月にかけてリハーサルを行い、3月からブロードウェイで上演する予定です。

**堀井** 劇場はもう決まっているのですか。

**出口** こればかりは、その時に空いている劇場にしか入れません。ブロードウェイでは、40ある劇場がいつも埋まっていますから、かなり前からウェイティングをかけて、順番を待つんです。

**堀井** ブロードウェイにはブロードウェイとオフブロードウェイがあると聞いていますが、どのように違うのでしょうか。

**出口** ニューヨークのタイムズスクエアに劇場があって、500人以上の観客を収容できるのがブロードウェイ、500人未満がオフブロードウェイと呼ばれています。

**堀井** 客席数での区別なんですね。そうすると、このシアターBRAVA!はどうですか。

**出口** ここは1,100人を収容できますから、ブロードウェイと同じですね。舞台の機構も申し分ありません。ところでお二人に、ちょっと

これをご覧いただきたいのですが。

**堀井** ブロードウェイのミュージカルのプログラムですね。

**出口** そうです。『マンマミーア』『ヘアスプレー』『ウィキッド』『ジャージーボーイズ』。この他にもいろいろなものがあるんですが、私たちはそれらすべてに『TRIP OF LOVE』の広告を載せています。

**堀井** すごいですね。ブロードウェイミュージカルのプログラムに掲載された『TRIP OF LOVE』の広告 WORLD PREMIERE IN OSAKA, JAPAN! って大きく書いてあって、大阪城の写真まで載っている。

**出口** 「世界初のお披露目を大阪でやりますよ」とってね。いま、ブロードウェイではどの劇場にいてもこの広告を目にします。新聞にも出していますから、ニューヨーカーの間で『TRIP OF LOVE』は良く知られているし、大阪でのトライアウト公演も注目されています。それとユナイテッド航空の機内誌にも広告を載せ、アジアで初めて、大阪でトライアウト公演をするという記事も書いてもらいました。

**堀井** ニューヨークでこれだけ大阪が宣伝されているなんて、大阪の人は知らないでしょうね。さらに機内誌で『TRIP OF LOVE』が世界に情報発信されている。こうした出口さんたちの非常な努力は貴重ですね。

**出口** ありがとうございます。ブロードウェイで公演する場合の、チケットの売れ行きは劇評家のコメントで大きく左右されます。劇評家が「この作品を見るべし」とってポストやタイム誌に書けば、とたんに電話が集中して、切符は半年先まで売り切れてしまうことがあります。だから劇評家を唸らせるような良い作品にするために、トライアウトで練りに練って完成度を高めるんです。

**堀井** 大阪公演にもニューヨークの劇評家は来るんですか。

**出口** はい。千秋楽近くのもっとも完成度の高いときに、ニューヨークから劇評家を招待して、この作品は絶対ニューヨークでやるべきだという評価をもらいたいと思っています。

**堀井** そうしてニューヨーク公演の後に、再び大阪で凱旋公演をやっていたらどうか。

**出口** それは東京でやりたいと思っています。「このミュージカルは大阪でつくったんや」とって、東京でお披露目したいなど。

**堀井** なるほど。それでこそ大阪から演劇文化を発信する意味があるわけですね。トライアウト公演とブロードウェイでの大成功をお祈りいたします。本日はどうもありがとうございました。

平成20年3月28日／シアターBRAVA! (大阪市中央区)にて



ブロードウェイミュージカルのプログラムに掲載された『TRIP OF LOVE』の広告